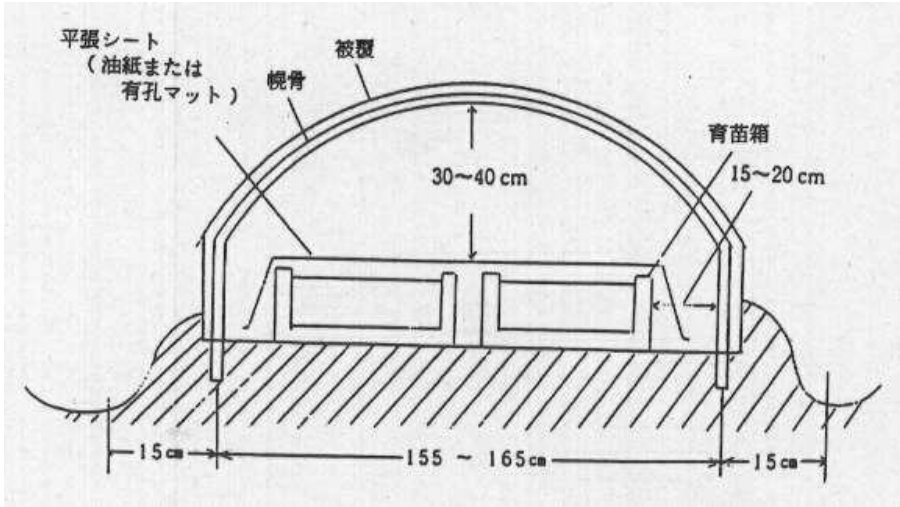


1 作物

項 目	作 業 内 容
<p>(1) 麦の管理</p>	<p>(今月の作業管理のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○麦の管理 ○早期水稻の育苗 <p>ア 穂肥</p> <p>穂肥の施用時期は「出穂前 30～25 日」である。農林水産研究所（松山市）における 11 月中旬は種において、はだか麦ハルヒメボシの出穂期は平年で 3 月 22 日である。同様に小麦チクゴイズミでは 3 月 30 日である。このことから、ハルヒメボシの穂肥時期は、11 月中旬は種では 2 月下旬であり、12 月上旬は種では 3 月上旬である。チクゴイズミの穂肥時期は、11 月中旬は種では 3 月上旬であり、12 月上旬は種では 3 月中旬である。1 か月予報（2 月 16 日高松地方気象台発表）では、平均気温は平年より高く、降水量は平年並の見込みであり、平年より出穂期が早まる可能性があるため、今後の気象動向に注意するとともに、幼穂を観察し、幼穂長 5～10 mm を目安に施用する。</p> <p>穂肥の施用量は、ハルヒメボシ、チクゴイズミともに 10 a 当たり成分量でチッ素 3 kg を基準とするが、中間追肥量や生育状況及び葉色により加減する。</p> <p>なお、穂肥の増量は穂数を増加させるが、茎数の少ない条件下では、遅れ穂を誘発し、成熟の遅れや品質低下を招くため、施用量は基準量を超えないように注意する。</p> <p>イ 湿害対策</p> <p>3 月は菜種梅雨として雨が多い時期である。今後の降水量は平年並の見込みであるが、排水対策が不十分なほ場では湿害が懸念される。この時期の湿害は、根の機能障害をもたらし、収量や品質を大幅に低下させるため、徹底した排水対策が必要である。降雨後の水がほ場外へ排水できるように、排水溝（明きよ）の補修を行っておく。</p> <p>ウ 赤かび病防除</p> <p>赤かび病は多発すると収量・品質が低下するだけでなく、赤かび病菌が産生するかび毒は人畜に有害で、農産物検査では赤かび粒は混入してはならないとされており、麦栽培において極めて重要な病害である。</p> <p>赤かび病の防除は、出穂時期が平年並であれば 4 月以降とな</p>

項 目	作 業 内 容
<p>(2) 早期水稲の育苗</p>	<p>るが、出穂・開花期が早まり気温 15℃以上で連続した降雨があると 3 月下旬頃から防除が必要な場合があるので、麦の開花状況や天気予報、病虫害防除所の子のう胞子飛散情報に留意する。</p> <p>早期の水稲では今月より育苗を開始する。この時期は、まだ寒い日が続くことから、苗立枯病やムレ苗が発生しやすいため、次の点に留意する。</p> <p>ア 用土の準備 育苗用土は通気性や透水性が良く、かつ保水性や保肥力が必要である。市販の人工粒状培土などを用いる際は、品質の保証されたものを使用する。山土や水田土壌を用いる場合は、土壌の pH を 4.5～5.0 に調整する。肥料は、苗箱当たりの成分量で、チッ素およびカリは 1 g とし、リン酸は過剰症が出ることもあるので 0.8 g とする。</p> <p>イ 浸種、催芽 種子は塩水選と種子消毒を徹底する。水稲の種子は、1 日の平均水温の積算 100℃になると発芽するので、それを目安に 10～20℃の水温で浸種を行う。コシヒカリなど発芽しにくい品種はやや長めに浸種する。 出芽揃いを良くするため、浸種後の催芽を行う。約 30℃で高湿度の室内で約 1 日間芽が出るのを促し、ハト胸状態にする。</p> <p>ウ 播種 早期栽培では、普通期栽培より育苗期間が長いため、播種量は催芽粃で箱当たり 160 g 以下の薄播きとする。 出芽は出芽室や育苗器内の暗黒下で、28～30℃で 2～3 日保温する。これ以上の高温になると立枯性病害が発生しやすいため、出芽室内の温度を上げすぎないように管理する。</p> <p>エ 緑化・硬化 芽が 5 mm 程度伸びたら緑化に移る。芽を伸ばしすぎると 2 段根になるので注意する。なお、緑化移行時に強い光や 5℃以下の低温にさらすと葉緑素の形成が阻害され、白化現象が発生するので、育苗シート等で遮光と保温に努める。 緑化は、シルバーポリシートのトンネル育苗（次ページ図）が簡易である。昼間は 20～30℃に保温・換気し、夜間は 10℃</p>

項 目	作 業 内 容
	<p>以上に保温する。4～5 cm程度に伸びたら被覆をはずし硬化に移る。苗の根張りを良くするため、床土が過湿にならないようにする。また、低温時期の育苗では、地温低下防止のため午前中にかん水する。</p>  <p>図 シルバーポリシートによるトンネル被覆の育苗</p>

(作成 農林水産研究所)